

史跡小牧山桜の馬場発掘調査結果

1. 調査期間 令和2年6月1日（月）～17日（水）
2. 調査面積 32 m²
3. 概要

トイレと四阿の南東に調査区を設定して調査を実施した。

調査区北半では、現地表下20 cm程度で地山面（黄色シルト）に至った。南半では、現地表下15～20 cmで遺構検出面（曲輪213（暗褐色土））に至った。検出面で3基のピットと礎石の可能性のある石1基を確認した。SP02からは東濃型山茶碗の小破片2点が出土した。

調査区を北から南に縦断する排水管と、調査区南端に給水管が埋設されていることを確認した。管の埋設時の攪乱や調査区南端の攪乱により、一部では遺構面が残っていなかった。

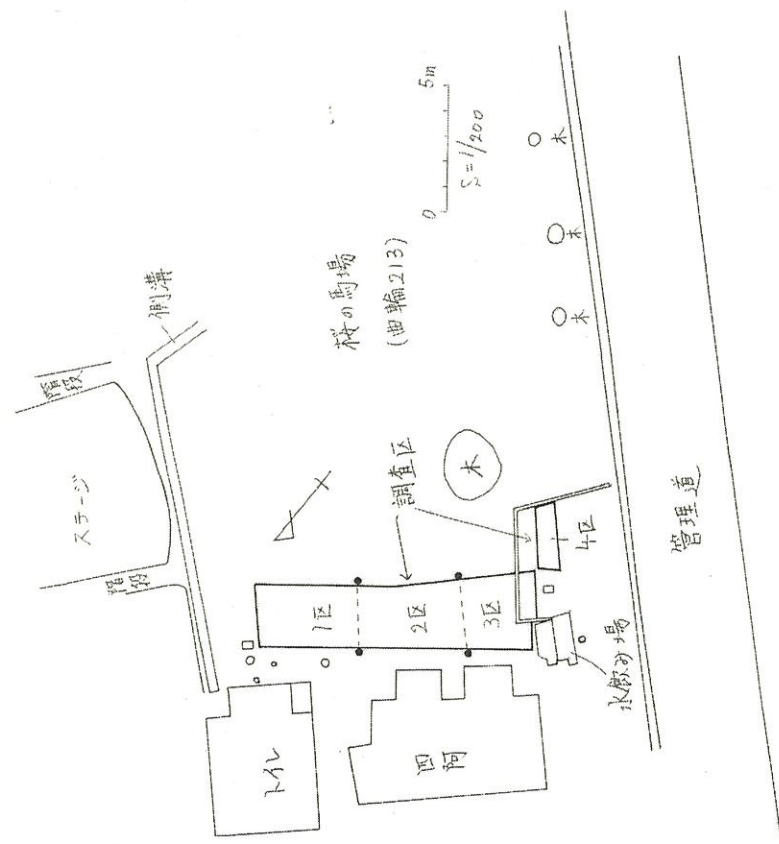
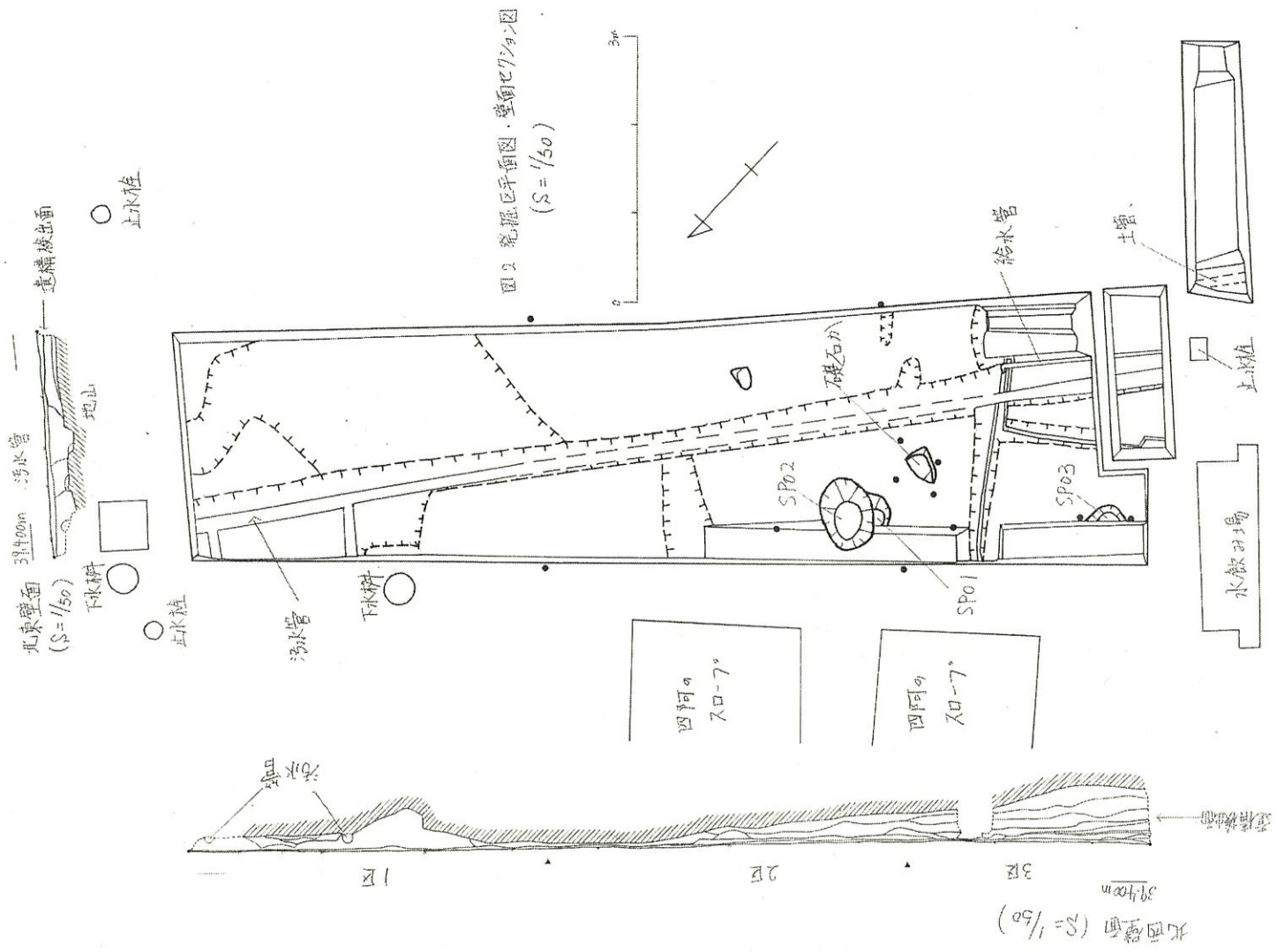


図1. 調査区位置図 (S=1/200)

北西壁面 (S=1/50) 394mm

1区

2区

3区

四阿の
入口-7°

四阿の
入口-7°

水検砂場

図2 発掘区平面図・壁面セクション図 (S=1/50)

3m



北東壁面 (S=1/50) 394mm 汚水管

下水栓

止水栓

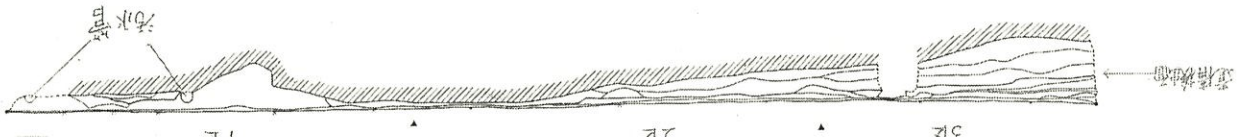
汚水管

下水栓

汚水管

土管

止水栓



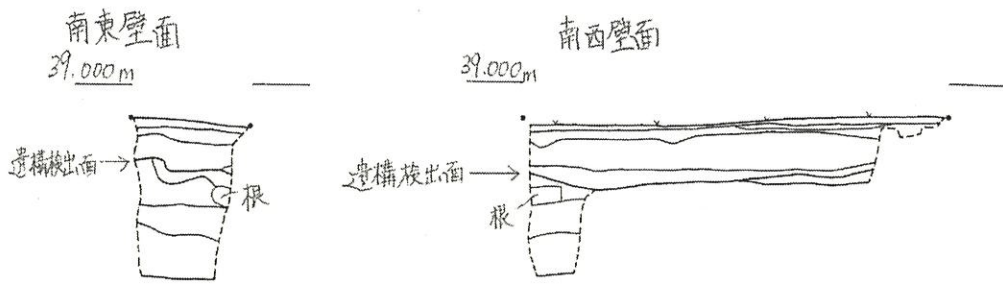


図3. 4区壁面セクション図 (S=1/50)

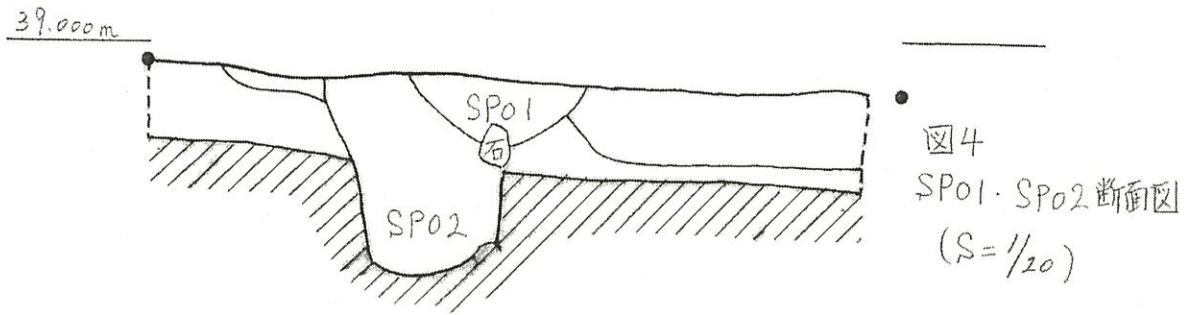


図4
SP01・SP02断面図
(S=1/20)

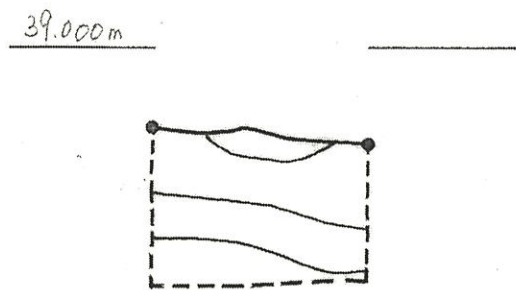


図5 SP03断面図 (S=1/20)

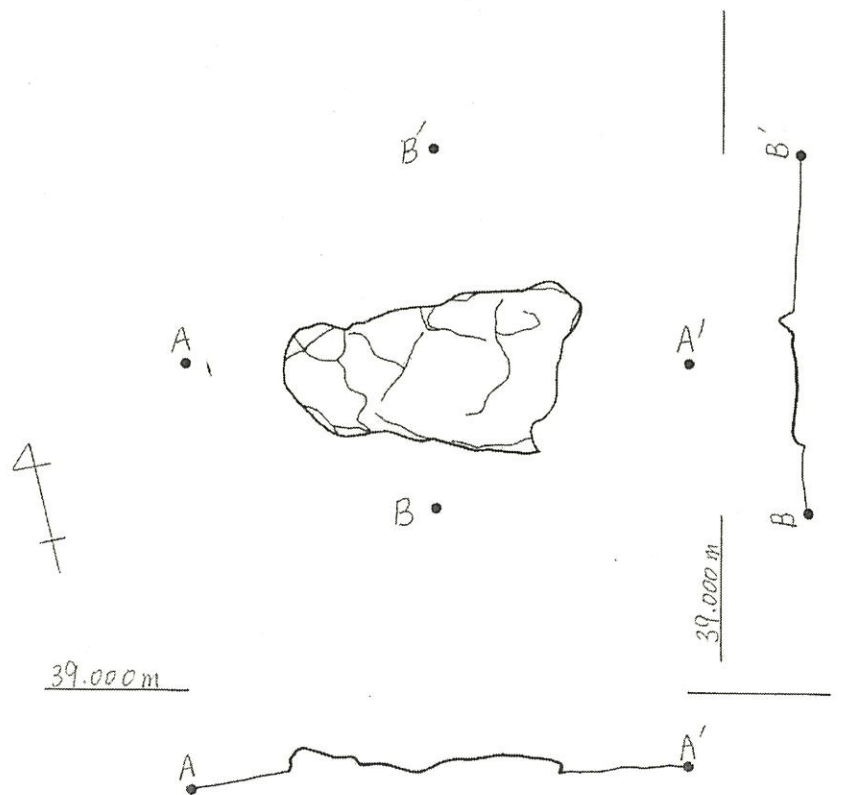


図6. 礎石出土状況図 及びエlevation図

史跡小牧山桜の馬場発掘調査



調査前(北東から)



1～3区掘り上がり状況(南西から)



4区掘り上がり状況(北西から)



礎石出土状況(南から)



SP02(黒色土)・SP01(明褐色土)断面図(北西から)



埋戻し復旧後(北東から)